

平成28年2月15日

海外メディア/大使館向けツアーを千葉県にて実施します ～地域資源の魅力を世界に向けて発信～

関東経済産業局では、平成28年2月19日（金）に千葉県（詳細は別紙）にて、「海外メディアツアー～江戸を支えたルーツを巡る～」を実施します。

本事業では、地域資源（日本酒・食・町並み等）を効果的に結びつける取組として、①地酒、②地元食材、③船めぐり、④町歩きを総合的に体験できるツアーを行い、地域の魅力を世界に向けて発信します。

1. 目的・経緯

- 昨年は、訪日外国人が1973万人に達しましたが、今後は日本の各地域に訪問する観光客を増やし、地域における消費を増やすための取組が必要です。
- 地域には、魅力ある資源（日本酒、食、伝統的工芸品、観光資源など）が豊富にありますが、各々が孤軍奮闘しているのが現状であり、そのような地域資源を効果的に結びつけることが重要です。
- 本事業では、情報発信力の高い知日派外国人や大使館員がツアー形式で地域を訪問して、効果的な情報発信を行うことにより、地域へのインバウンドを促進します。
- 具体的には、千葉県神崎町、香取市佐原地区、酒々井町を訪問し、江戸時代から300年以上続く老舗であり個性のある酒造りに取り組んでいる酒蔵見学を中心に、①地酒（日本酒）、②地元食材、③船めぐり、④町歩きの総合的な体験を通じて、地域の魅力を海外へ発信してもらうことを目的としたツアーを行います。

2. 主催等

主催：関東経済産業局

共催：千葉県、千葉ブランド農水産物・食品輸出協議会（事務局：ジェトロ千葉貿易情報センター）

3. 開催概要

日 時：平成28年2月19日（金）8：00～19：00
訪 問 先：千葉県神崎町、香取市佐原地区、酒々井町
参 加 者：海外メディア、外国大使館員等20名程度
行 程：別紙

（本発表資料のお問い合わせ先）

関東経済産業局 産業部 国際課長 竹村

担当者：井ノ上、千葉

電 話：048-600-0264（直通）

(別紙)

海外メディアツアー行程

◆東京駅出発

◆酒蔵見学—鍋店^{なべだな}(株)神崎蔵^{こうざき}(神崎町^{こうざき})

元禄2年(1689年)創業の300年以上続く老舗酒造メーカー。2015IWC(インターナショナル・ワイン・チャレンジ)純米吟醸酒・純米大吟醸酒の部ゴールドメダル受賞。

代表銘柄は、「不動(ふどう)」「仁勇(じんゆう)」。

◆道の駅・発酵の里^{こうざき}こうざき見学(神崎町)

全国で唯一「発酵」をテーマにした道の駅。江戸時代を中心にかつて醸造業が盛んであったことから、町おこしとして「発酵文化」を世界に発信する拠点として位置づけられている。国土交通省“重点「道の駅」”に選定。

◆昼食懇談会、舟巡り、町歩き(香取市^{さわら}佐原)

昼食は、江戸時代に利根川の水運で栄えた香取市佐原にて、古民家を改装した風情あるフレンチレストランで地元の食材や調味料を使った食事と佐原の銘酒とのマリアージュを愉しんでもらう。

食後は、中心部を流れる小野川(利根川支流)を舟で巡る体験や、創業250年を迎える植田屋荒物店や県指定有形文化財に指定される中村屋乾物店など、江戸期の面影が今も残る風情ある佇まいと、江戸優(まさ)りの精神を持つ人情豊かな文化が融合した町並みを歩き、かつての商都・交易都市佐原を体感してもらう。

◆酒蔵見学—(株)飯沼本家^{いぬまほんけ}(酒々井町^{しすい})

元禄年間(1688年~1703年)に創業の300年以上続く老舗酒造メーカー。孝行息子の井戸から酒が湧いたという酒の井戸の伝説に由来する町・酒々井で唯一の酒蔵である。近年は、観光蔵として観光客や消費者と積極的にコミュニケーションを図り、幅広い層から支持を得ている。代表銘柄は「甲子正宗(きのえねまさむね)」、「一喜(いっき)」。

◆東京駅解散